

平成 28 年度第 4 回経営協議会議事要録

- 1 日 時 平成 29 年 1 月 31 日 (火) 14:10~15:25
- 2 場 所 ホテルアソシア豊橋 5 階「ボールルーム A」
- 3 出席者 議長 学長
鎌土委員, 合田委員 (委任状提出), 谷口委員, 佐原委員 (委任状提出), 古野委員, 神野委員 (委任状提出), 大貝委員, 井上委員, 鈴木委員, 寺嶋委員
- 4 列席者 佐藤監事, 牧監事, 石田特別顧問

5 議 題

[審議事項]

- (1) 第 3 期中期計画の変更等について
- (2) 第 3 期中期目標期間に係る財務基本方針について

[報告事項]

- (1) 平成 29 年度予算案の内示について

[その他事項]

- (1) 研究大学強化促進事業豊橋技術科学大学シンポジウムについて
- (2) グローバル学生宿舎及び附属図書館竣工記念式典, 披露会及び記念祝賀会について
- (3) 豊橋技術科学大学関係新聞記事等について

6 議 事

議事に先立ち, 平成 28 年度第 3 回議事要録 (案) について, 原案どおり確認された。

[審議事項]

- (1) 第 3 期中期計画の変更等について

大貝理事・副学長から, 資料「審議 1」に基づき, 第 3 期中期計画の変更の認可申請及び戦略性が高く意欲的な目標・計画の追加認定申請について説明があり, 審議の結果, 審議 1-2 の 8 頁目の中期計画案 19-01-49-2 の「外国人割合を 7%」を「外国人割合を 6%」に修正し, その他は原案のとおり承認された。

主な説明内容及び意見等は次のとおり。(意見に対する回答含む。)

- ・平成 28 年度国立大学改革強化推進補助金 (特定支援型) の採択を受け, 文部科学省へ第 3 期中期目標期間中の具体的な数値目標を記載する若手研究者雇用計画書を提出しており, その数値を計画に反映させる。
- ・現行の中期計画において, 多様な人材の採用との観点で, 若手・女性・外国人割合の目標達成をまとめた計画としているが, 若手について独立させ計画を 1 つ増やす。
- ・中期計画変更に合わせて, 変更に関係する取組が戦略性の高い意欲的な取組であると考えられるものについては追加認定を受け付けるとの文部科学省通知に基づき, 本学取組は国の第 5 期科学技術基本計画に掲げる目標を目指す戦略性が高い取組と考えるため, 追加認定を申請する。
- ・今回の中期計画の変更にあたり, 学校教員統計調査における本務教員の定義により, 40 歳未満の若手本務教員の割合を算出することとした。
- ・第 5 期科学技術基本計画では, 大学本務教員に占める 40 歳未満の教員の割合が 3 割以上となることを目指すと示しているが, 第 3 期中期計画において 28%以上確保すると設定しているのはなぜか。
- ・第 5 期科学技術基本計画では, 第 5 期基本計画期間中に, 40 歳未満の大学本務教員の数を 1 割増加させるとともに, 将来的に, 我が国全体の大学本務教員に占める割合が 3 割以上となることを目指しており, 今回の中期計画の変更による本学の取組は, 第 3 期中期目標期間中に 40 歳未満の大学本務教員の数を 1 割増加させ, 28%以上確保し, 将来的には 3 割以上を目指すものであり, 第 5 期科学技術基本計画と合致していることから, 28%以上確保することを目標として設定した。

- (2) 第 3 期中期目標期間に係る財務基本方針について

鈴木理事・事務局長から, 資料「審議 2」に基づき, 第 3 期中期目標期間に係る財務基本方針について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認された。

主な意見等は次のとおり。（意見に対する回答含む。）

- ・自己収入について具体的な想定額はあるのか。
- ・社会人向け実践教育プログラムについては、受講料等により数百万円程度増を目指している。
- ・自己収入の増において、あえて「職員宿舎等の入居率等を高める等」を加えた理由は何か。
- ・職員宿舎の入居率は7～8割であるが、今後、積極的に入居を働きかける等により、その他の宿舎の収入増を図るために追記した。
- ・間接経費の考え方を見直すことを検討しているのか。
- ・科研費等の政府関係機関における競争的資金の間接経費は、直接経費の30%相当とされている。
- ・本学の共同研究においては、原則直接経費の10%相当を間接経費としているが、国や経団連等の方針に沿って、人件費や光熱水費等に充てるため、各プロジェクトの状況を見ながら間接経費の見直しを検討している。

[報告事項]

(1) 平成29年度予算案の内示について

学長及び鈴木理事・事務局長から、資料「報告1」に基づき、平成28年12月22日に閣議決定された平成29年度予算案の内示の状況について、報告があった。

主な説明内容は次のとおり。

- ・国立大学全体の運営費交付金等は前年度比25億円増。
- ・本学の運営費交付金総額は、前年度比約1千4百万円減であるが、新たに措置される国立大学法人機能強化促進費（補助金）を勘案すると、前年度とほぼ同額。
- ・基幹運営費交付金のうち、一般分相当については約3千万円減、機能強化経費は約1千5百万円増。
- ・機能強化に係る本学の戦略は3つあり、各戦略の評価指標（KPI）の評価結果は、戦略1がD評価、戦略2及び戦略3がB評価であった。この評価結果による本学の予算の再配分率は99.7%となっている。
- ・今回は平成28年度に設定した評価指標に対する評価であったが、来年度は指標の進捗状況について評価されるのではないか。
- ・施設整備費補助金は、基幹・環境整備（排水処理施設）及び基幹・環境整備（給水設備）の2事業が内示された。

[その他事項]

(1) 研究大学強化促進事業豊橋技術科学大学シンポジウムについて

学長から、資料「その他1」に基づき、2月14日(火)に開催予定の研究大学強化促進事業豊橋技術科学大学シンポジウムについて、説明があった。

(2) グローバル学生宿舎及び附属図書館竣工記念式典、披露会及び記念祝賀会について

学長から、資料「その他2」に基づき、3月28日に竣工予定の「グローバル学生宿舎」及び「附属図書館」に係る竣工記念式典、披露会及び記念祝賀会について、説明があった。

(3) 豊橋技術科学大学関係新聞記事等について

学長から、資料「参考1」に基づき、平成28年11月22日から平成29年1月25日までの本学関係新聞記事について、説明があった。

併せて、資料「参考2」に基づき、平成28年12月20日から平成29年1月27日までの大学関係新聞記事について、説明があった。

以 上